

一般社団法人上越歯科医師会

# 在宅歯科医療連携室

平成 2 7 年 度

## 概 況 報 告 書

(平成 2 7 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日)

<第 1 0 5 回 定時総会 資料>

※ 6月30日開催の第105回定時総会にご持参くださいますようお願いいたします。

作成 一般社団法人上越歯科医師会 在宅歯科医療連携室

## 「訪問口腔ケアセンター」は設立10周年を迎え、 平成28年度から「在宅歯科医療連携室」に包括されました。

「訪問口腔ケアセンター」は平成18年3月23日設立で、本年度で設立10周年を迎えました。全国的にもあまり例のない歯科医師会の事業であり、地味ながら着実に発展を遂げてまいりました。

その後、厚生労働省の平成22年度の歯科保健対策の新規事業で、「在宅歯科医療連携室整備事業」が開始されました。上越歯科医師会では、すでに「訪問口腔ケアセンター」を独自に開設していたこともあり、本会がモデル事業の対象に選定され、平成23年4月1日付で訪問口腔ケアセンターに併置される形で設立されました。新潟県では本会と佐渡歯科医師会に在宅歯科医療連携室が設置されました。

また、平成26年度途中、基金事業の「医療介護総合確保基金」により、在宅歯科医療連携室整備事業予算が確保されることになり、新たに新潟・長岡・新発田など5郡市会に在宅歯科医療連携室が設置されることになりました。(平成27年1月)  
さらに、平成28年度は4郡市会に設置予定です。

このように、「在宅歯科医療連携室」が新潟県歯科医師会主導で推進されてきて、また、県内11郡市会にまで拡がりを見せると、在宅歯科医療連携室整備事業が歯科医師会事業として定着しつつある状況であり、対外的にも周知されてきております。

本会は、「訪問口腔ケアセンター」の方が先に設立されたことで、2つの名称(看板)が並立されてきました。しかし、双方の業務内容に類似点が多く、区別しにくくてわかりにくいとのご指摘を内外からいただくようになり、理事会等で協議の結果、平成27年度末をもって、訪問口腔ケアセンターは在宅歯科医療連携室に包括され、発展的解消をすることになりました。

訪問口腔ケアセンターの名称は消えましたが、その事業は縮小されることなく、すべての業務が在宅歯科医療連携室に包括されております。

本会・在宅歯科医療連携室は、訪問口腔ケアセンター10年の実績を継承して、他郡市会・在宅歯科医療連携室の先駆者として、今後も特色ある事業展開をしてまいりたいと思います。

## 【在宅歯科医療連携室の設立主旨】

超高齢社会に対応する医療介護連携体制を構築することが急務となっている現在、歯科医師会会員が円滑に訪問歯科医療等に携われるようにすることと同時に、口腔ケアを推進することにより要介護者等の健康状態の悪化を防止する体制を整え、また、市民並びに他職種が歯科医療を十分に活用できる環境を整備し、地域包括ケアの構築と運営に歯科が責任ある立場として参画することが求められています。

また、今後更なる医療介護連携体制を構築していく上で、多職種と共通認識を有し、顔の見える連携をとることが求められています。また、他団体、他職種、行政等の依頼事項に対して便利に、敷居が低く、地域と密着しながら対応していくことが必要となります。

しかし、歯科医師会の会員は、個人開業医が大多数を占めるため、その活動には様々な制約があり、今まで以上の対応を行うことは困難であるのが現状です。そこで、上越歯科医師会では、地域に密着した医療介護連携体制を構築していくために、「在宅歯科医療連携室」を設置し、事業展開しています。

### <事業内容>

- ①医療・介護等、関連多職種との連携窓口
- ②在宅歯科医療希望者等、一般市民の窓口
- ③訪問歯科医療従事者の負担軽減の支援
- ④効率的な歯科医療提供のための多職種連携のコーディネート
- ⑤訪問歯科医療、口腔機能向上に関する地域住民への普及啓発
- ⑥訪問歯科医療に従事する人材育成
- ⑦訪問歯科医療に関する調査研究

### <設置状況>

設置場所	上越歯科医師会館内
対応時間	月水金：10：00～12：00（平成27年9月1日～追加） 月～金：13：00～17：00 （会館閉館日及び休日歯科診療センター開設日以外）
配置職員・職種	榎井美貴子、村山径の2名にて当番制 （歯科衛生士及び介護支援専門員資格保有）

## 【登録歯科衛生士の制度】

☆在宅歯科医療連携室は、

訪問口腔ケアセンター設立当時の構想による

**歯科衛生士職の人材登録バンク**としての役割があります。

登録歯科衛生士への下記の出務依頼についてもその窓口となっており、円滑に出務できるよう支援しています。

- ①訪問口腔ケア
- ②健診事業・歯科保健啓発事業
- ③通所事業所における口腔機能向上サービス
- ④介護予防事業における口腔機能向上サービス
- ⑤口腔ケア研修会講師 等

※会員の先生方の依頼により、歯科衛生士に関する業務全般での出務にも対応いたします。(歯科医療機関内の業務以外)

例えば、学校・園での歯科衛生講話なども可能です。

☆登録歯科衛生士 名簿 (平成 28 年 6 月 1 日現在)

池田千枝子	伊藤 明子	岩片みえ子	薄波 清美
奥泉 文子	白澤 和枝	関口恵理子	竹内 伊澄
武田あゆみ	田原 尚子	樋口 聖子	藤原 光子
船岡 陽子	松木ナツ子	村山 径	初井美貴子
山口 敦子			

以上 17 名 (五十音順)

平成27年度 実績報告

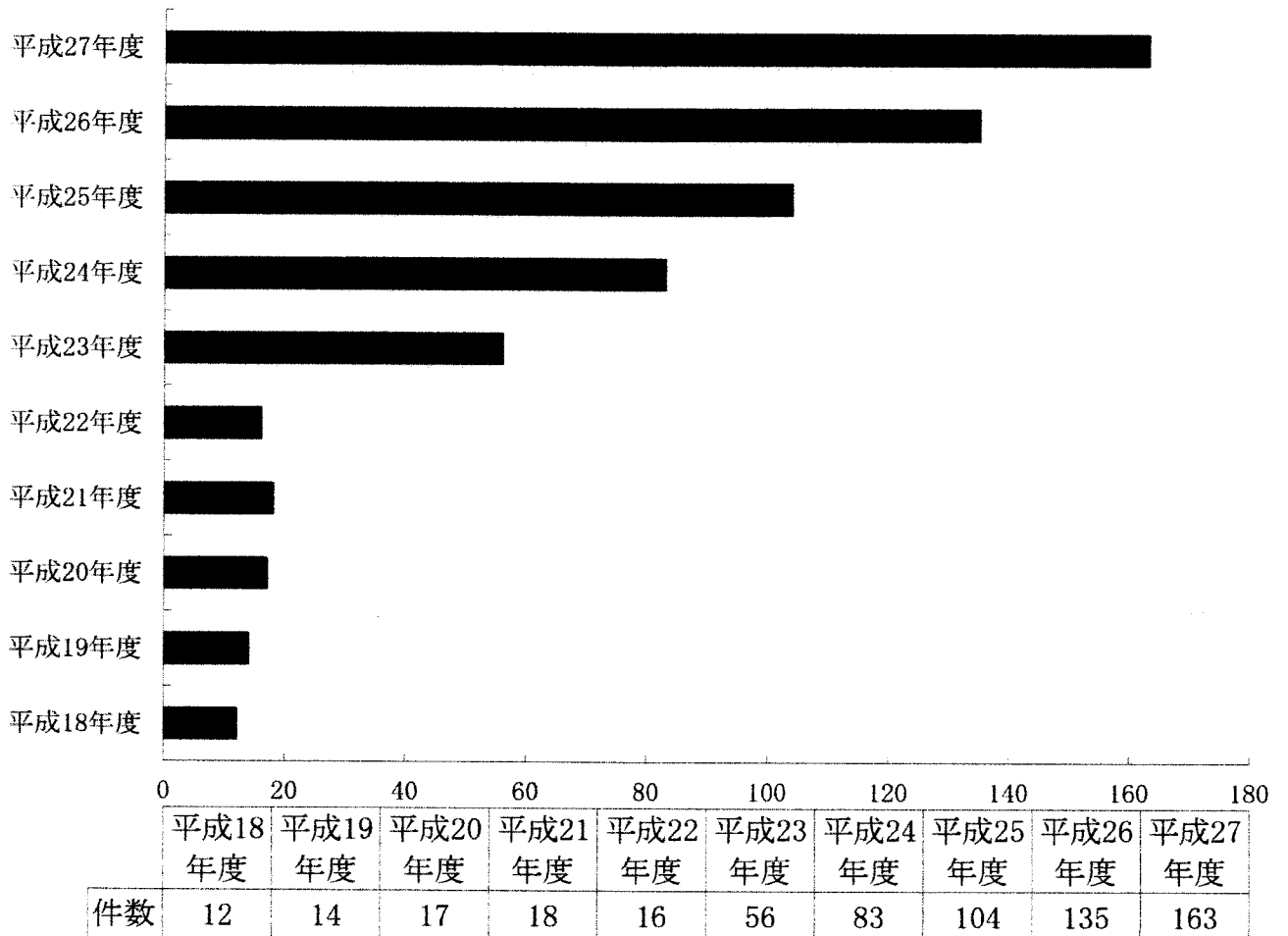
<電話および来室対応件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	18	15	8	10	11	12	11	16	19	15	17	163

相談元

- ① 歯科関係者 60件
- ② 介護支援専門員 46件
- ③ 行政関係者 25件
- ④ 一般住民 14件
- ⑤ 介護関係者 8件
- ⑥ 障害者支援関係者 5件
- ⑦ 病院関係者 2件
- ⑧ 学校・園関係者 2件
- ⑨ マスメディア 1件

電話および来室対応件数



## 【相談内容】

- ・訪問歯科診療および訪問口腔ケアに関すること
- ・退院時カンファレンスの現状に関すること
- ・訪問口腔ケアセンター・在宅歯科医療連携室への視察に関すること
- ・診療後の口腔内の症状に関すること
- ・認知症患者の歯科受診に関すること
- ・デイケアでの口腔機能向上加算算定に関すること
- ・嚥下リハビリテーションの対応に関すること
- ・ボタンプル（口腔リハ時に使用）に関すること
- ・介護予防事業に関すること
- ・口腔ケア実地研修事業に関すること
- ・訪問歯科健診事業に関すること
- ・矯正歯科に関すること
- ・在宅歯科医療連携室に関すること
- ・行政主催の歯科保健研修会における事例報告者に関すること
- ・予防教室出務依頼
- ・障害者通所施設における歯科健診等に関すること
- ・訪問時の口腔ケア用品に関すること
- ・居宅療養管理指導の介護保険契約書に関すること
- ・医療保険から介護保険に移行したい際の訪問に関すること
- ・在宅歯科医療連携室職員と訪問歯科衛生士の報酬に関すること
- ・身体障害者の受診に関すること
- ・認知症患者の義歯使用に関すること
- ・グループホーム入居者への訪問に関すること
- ・復職支援の相談会研修会に関すること
- ・地域振興局の事業に関すること
- ・保険点数の算定に関すること
- ・歯科衛生士会入会に関すること
- ・市の補助金に関すること
- ・在宅歯科医療の件数に関すること
- ・登録歯科衛生士の交通手段に関すること
- ・在宅歯科医療連携室主催の研修会に関すること
- ・在宅歯科医療連携室リーフレットに関すること
- ・町内会での健康講座に関すること 等

### < 歯科医師への出務依頼 >

依頼元	依頼内容	依頼件数
介護事業所等	訪問歯科診療（県歯事業含む）等	50
	研修会講師	5
合計		55

### < 登録歯科衛生士への出務依頼 >

依頼元	依頼内容	依頼件数
I 歯科医師会会員	①訪問口腔ケア（在宅） ※うち2件は訪問キャンセルとなる。	22
	②訪問口腔ケア（施設・病院）	11
	③歯科衛生講話と指導（介護保険施設等）	1
	④歯科衛生講話と指導（学校・園）	4
	⑤その他（口腔ケア実地研修事業）	16
	⑥その他（訪問口腔ケア現場での養成事業）	12
II 介護事業所等	①研修会修会講師	2
	②口腔機能向上サービス	0
	③訪問口腔ケア	0
III 行政等	①研修会講師	2
	②その他（上越市内学校等での健康教室）	77
	③その他（介護予防教室）	44
新潟県歯科医師会	復職支援相談会研修会（上越・長岡・新潟会場）	3
新潟県歯科保健協会	個別歯科保健指導	2
合計		196

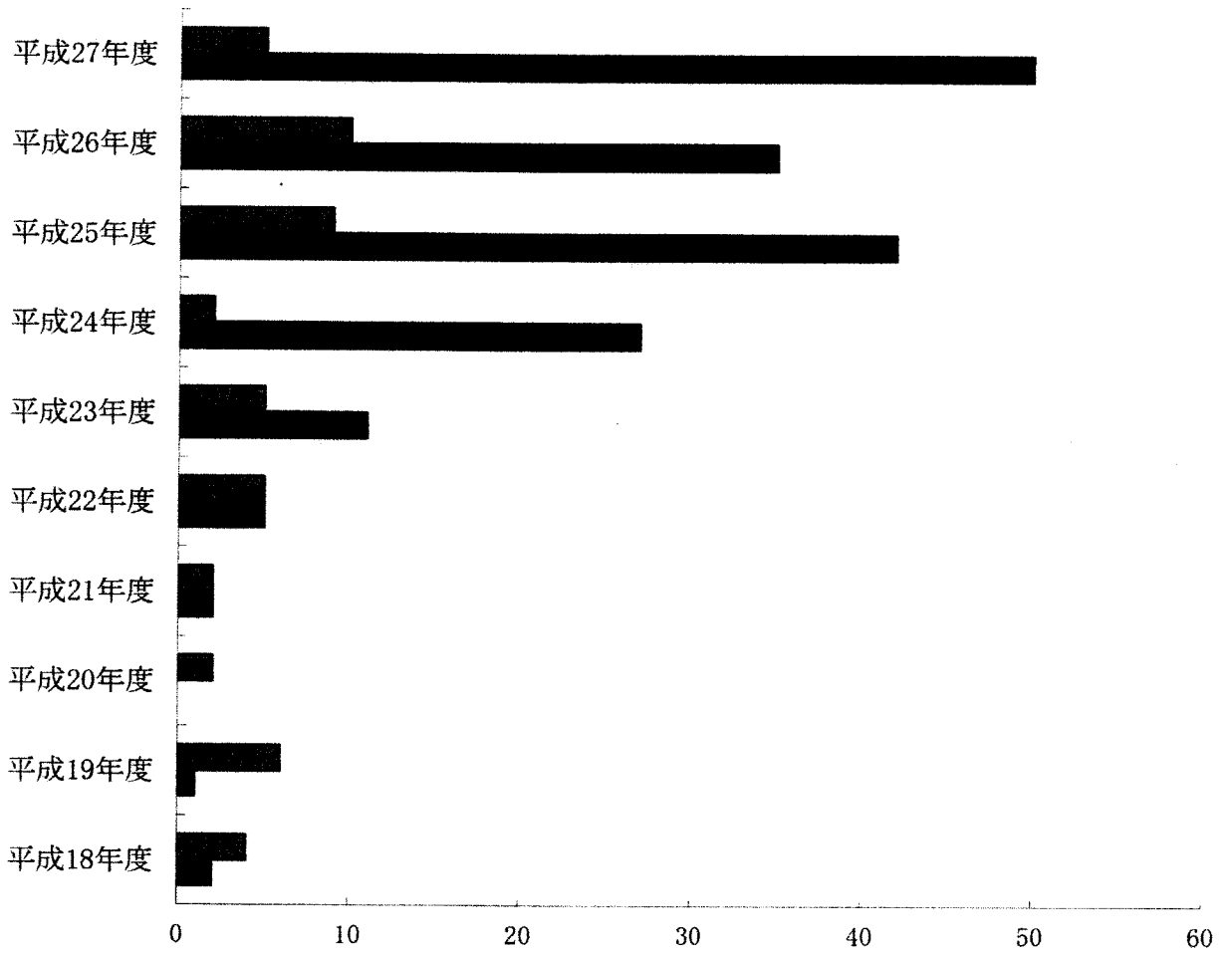
依頼総数	251
------	-----

（前年度は99）

### 月別件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8	14	11	8	18	15	11	43	9	18	11	85	251

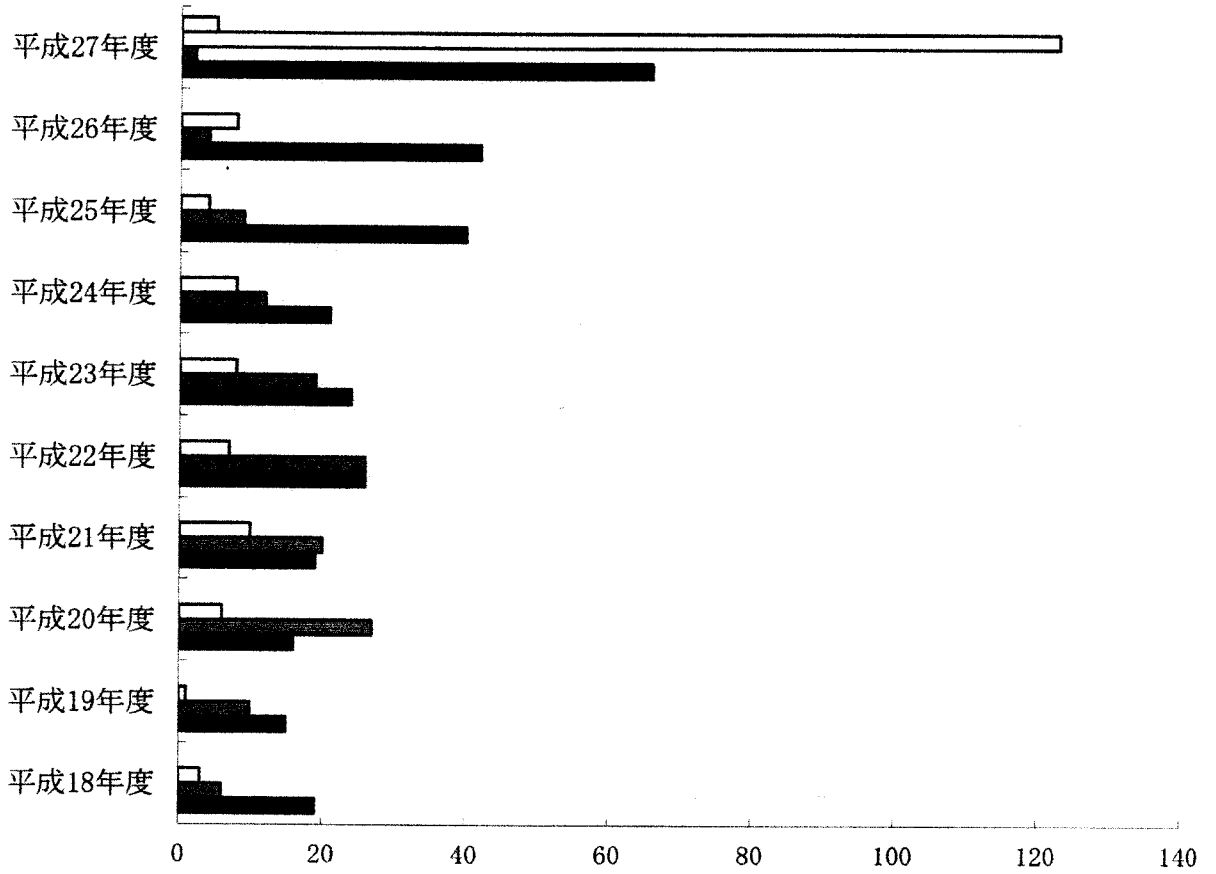
歯科医師への出務依頼件数



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
■研修会講師	4	6	2	2	5	5	2	9	10	5
■訪問歯科診療	2	1	0	2	5	11	27	42	35	50



歯科衛生士への出務依頼件数



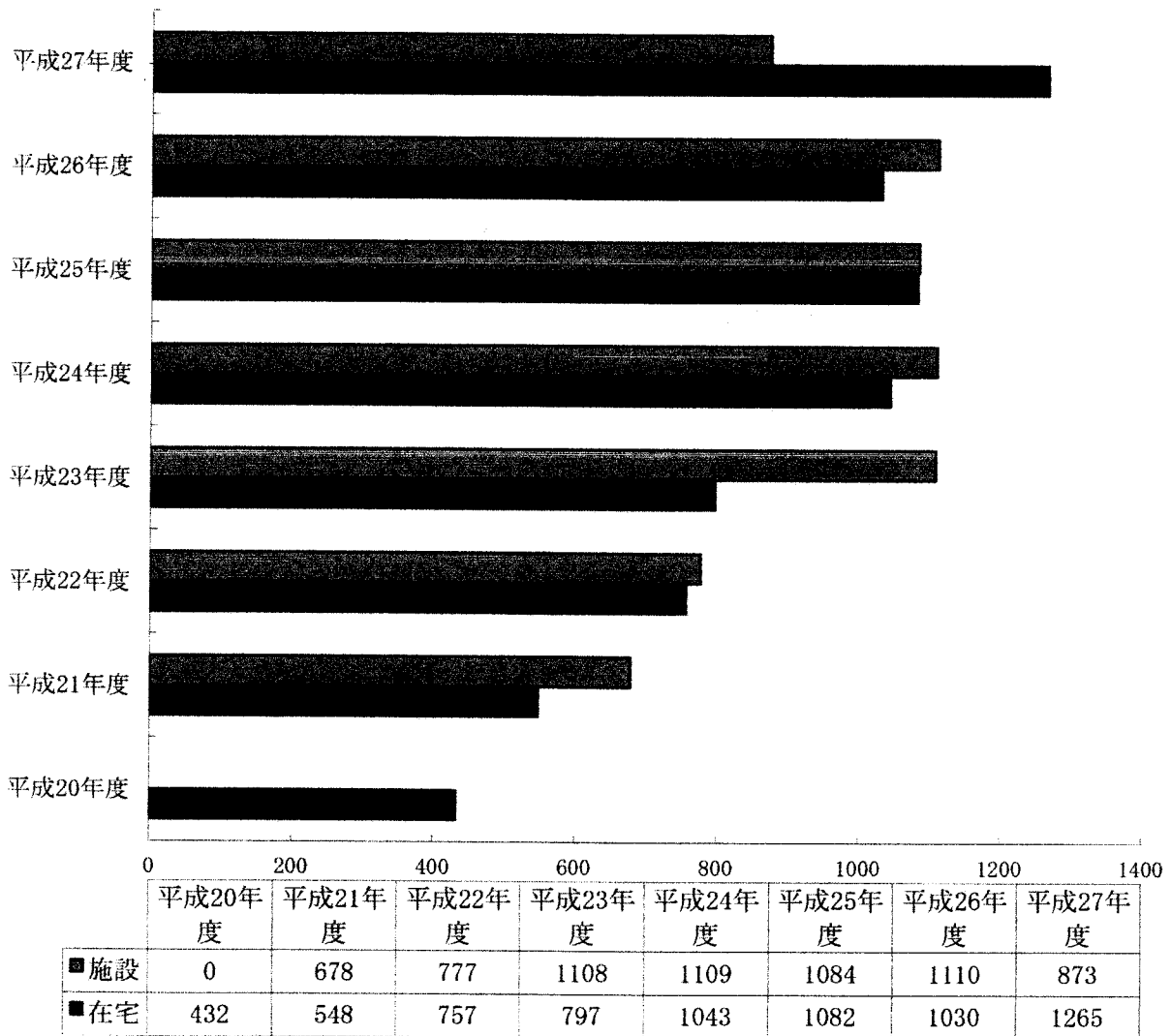
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
□県歯・歯科保健協会										5
□行政	3	1	6	10	7	8	8	4	8	123
■介護事業所等	6	10	27	20	26	19	12	9	4	2
■上歯会会員	19	15	16	19	26	24	21	40	42	66

訪問口腔ケア回数

在宅	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者数	32	33	33	28	30	36	38	33	37	41	38	39	
ケア回数	81	88	100	88	100	104	114	109	122	119	122	118	1265

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出務回数	23	26	30	30	29	27	26	27	26	27	26	28	
ケア回数	69	67	70	77	79	73	77	76	76	66	75	68	873

## 訪問口腔ケア回数



※データについては訪問口腔ケアセンターホームページのスタッフ出務カレンダー等によるものですが、平成21年度から入力を行っており、平成20年度は在宅訪問口腔ケアのみ手計算を行った為、施設のデータがありません。

※施設訪問先（特別養護老人ホーム）および担当登録歯科衛生士数  
 いたくら桜園 1名、上吉野愛宕の園 4名、三和愛宕の園 2名、  
 しおさいの里 2名、直江津愛宕の園 3名、みなかみの里 1名

※老人保健施設・有料老人ホーム・ケアハウス等において、個人対応で訪問口腔ケアを実施している対象者については、「在宅」の扱いで計上しています。

※施設における対象者数は、訪問日によって体調不良や外出等で実施不可の対象者もあり、把握しにくいのが現状です。ご了承下さい。

口腔機能向上サービス（通所リハビリテーション）（継続）

○口腔機能向上加算算定のための指導・助言

対象者：要支援要介護認定者

会場：こぶしリハビリセンター へ月に1回

担当者：登録歯科衛生士 1名

介護予防事業

○妙高市における介護予防事業での口腔機能向上サービス（継続）

対象者：妙高市 介護二次予防対象者

会場：2会場（新井地域、妙高地域）

担当者：登録歯科衛生士 2名

# 一般社団法人上越歯科医師会

## 在宅歯科医療連携室運営委員会

<運営委員会の構成> (敬称略)

在宅歯科医療連携室室長：上越歯科医師会会長 永井 謙

### 運 営 委 員 会

委員長	1名	水野吉広	(歯科医師会)
副委員長	2名	青山隆一	(歯科医師会)
		山口敦子	(歯科衛生士会)
委員			
☆歯科医師会会員			
○ 地域保健部会 (理事・部員) から選出			
水野吉広 青山隆一			
○ 理事会にて選出された者 若干名			
坂本廣一朗 大山賢司			
☆歯科衛生士会会員			
○ 役員・登録歯科衛生士から若干名			
山口敦子 薄波清美 梶井美貴子 村山径			

### <運営委員会開催>

○第1回

日 時	平成27年5月12日 (火) 19:30
出席者	歯科医師会：永井謙室長、水野吉広運営委員長、 青山隆一運営副委員長、坂本廣一朗運営委員、 大山賢司運営委員 歯科衛生士会：山口敦子運営副委員長、薄波清美運営委員、 梶井美貴子運営委員、村山径運営委員
内 容	・新委員の紹介 ・平成27年度の在宅歯科医療連携室の運営費について ・平成26年度在宅歯科医療連携室の事業報告 ・「在宅医療基盤整備事業」について ・その他

○第2回

日 時	平成27年8月11日(火) 19:30
出席者	<p>歯科医師会：永井謙センター長、水野吉広運営委員長、青山隆一運営副委員長、坂本廣一朗運営委員、大山賢司運営委員</p> <p>歯科衛生士会：山口敦子運営副委員長、薄波清美運営委員、靱井美貴子運営委員、村山径運営委員、船岡陽子上越ブロック長</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員長、副委員長の選出</li> <li>・県歯・基金事業における在宅歯科医療連携室整備事業の実施計画と予算案について</li> <li>・上越市補助金の予算案について</li> <li>・妙高市・糸魚川市との補助金に関する交渉について</li> <li>・平成27年度事業内容と役割分担について</li> <li>・在宅歯科医療連携室運営委員の増員について</li> <li>・その他</li> </ul>

○第3回

日 時	平成27年11月24日(火) 19:30
出席者	<p>歯科医師会：永井謙室長、水野吉広運営委員長、青山隆一運営副委員長、坂本廣一朗運営委員、大山賢司運営委員</p> <p>歯科衛生士会：山口敦子運営副委員長、靱井美貴子運営委員、村山径運営委員</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上越市補助金による8項目の事業の進捗状況</li> <li>・上越市補助金の会計処理について</li> <li>・糸魚川市との補助金の協議について</li> <li>・会館正面玄関の看板の名称について</li> <li>・他歯科医師会などからの視察への対応について</li> <li>・その他</li> </ul>

○第4回

日 時	平成28年2月9日(火) 19:30
出席者	<p>歯科医師会：永井謙室長、水野吉広運営委員長、青山隆一運営副委員長、坂本廣一朗運営委員、大山賢司運営委員</p> <p>歯科衛生士会：山口敦子運営副委員長、薄波清美運営委員、靱井美貴子運営委員、村山径運営委員</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅歯科医療連携室研修会の役割分担について</li> <li>・上越市補助金による平成27年度事業の進捗状況について</li> <li>・上越市補助金による平成28年度の事業計画について</li> <li>・妙高市補助金による平成28年度の事業計画について</li> <li>・糸魚川市補助金による平成28年度の事業計画について</li> <li>・糸魚川支部会員の訪問歯科診療件数実績の取り扱いについて</li> <li>・その他</li> </ul>

在宅歯科医療連携室整備事業 県歯への報告書より抜粋

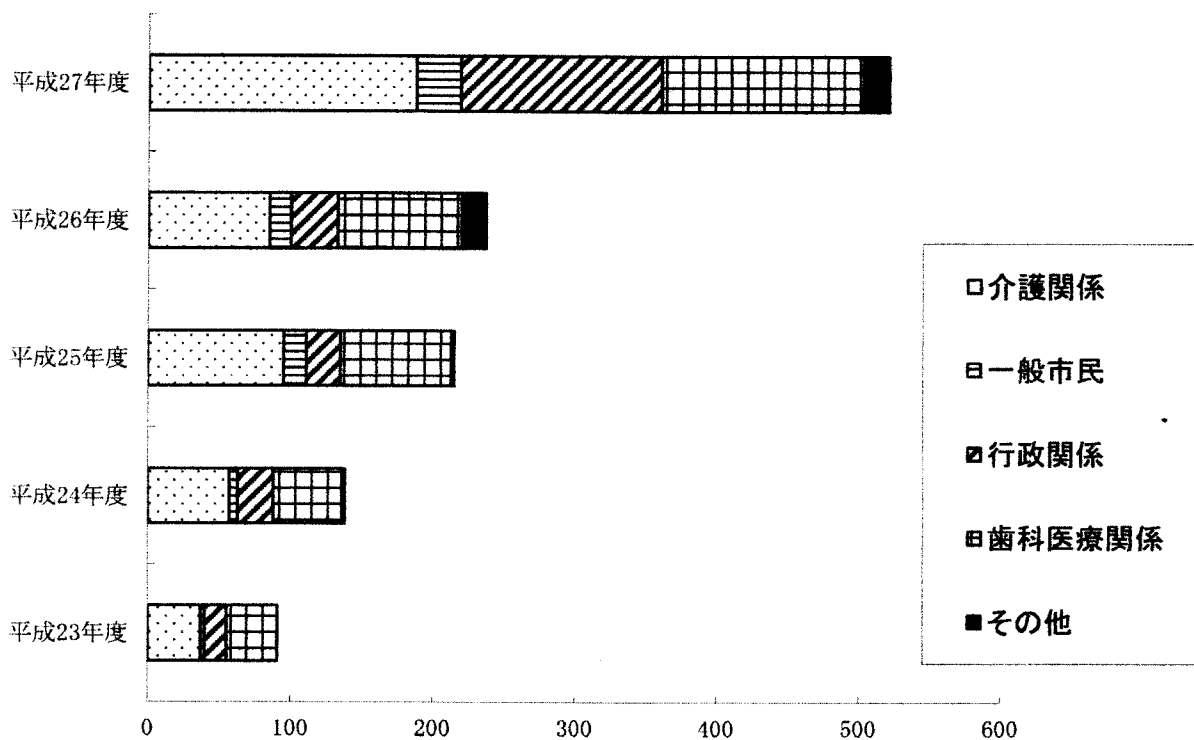
(集計方法が概況報告書と異なります。)

問い合わせ件数と内訳

平成 27 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数		32	41	38	25	39	33	32	59	30	52	34	106	521
(内訳)問い合わせ先	施設関係	16	22	18	14	21	12	15	16	8	22	10	14	188
	一般市民	2	3	3	4	2	3	1	2	0	4	4	3	31
	行政関係	1	6	4	2	3	4	2	33	3	2	4	78	142
	歯科医療関係	10	9	11	5	11	13	13	7	16	20	16	11	142
	その他	3	1	2	0	2	1	1	1	3	4	0	0	18
(再掲)在宅診療に繋がった件数		18	16	17	10	17	9	18	10	8	20	12	12	167

※訪問歯科健診事業 87 件口腔ケア実地研修事業 20 件 を含む。

内訳別問い合わせ件数の推移



## 【上越市在宅医療・介護連携推進事業補助金による事業】

○在宅医療を担う 歯科医師・歯科衛生士の人材育成

### ①在宅歯科医療連携室研修会

実施日時：平成 28 年 3 月 5 日（土）14：00～17：00

実施場所：上越歯科医師会館 大ホール

研修内容：講演

『要介護者の訪問口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーション』

講師：昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座

口腔衛生学部門 教授 弘中 祥司 先生

参加者数：58 名

歯科医師 16 名、歯科医院スタッフ 26 名、

歯科衛生士会会員 15 名、その他 1 名

### ②訪問口腔ケアのための歯科衛生士研修会

実施日時：平成 27 年 11 月 29 日（日）9：30～12：00

実施場所：直江津学びの交流館 多目的ホール AB

研修内容：講演：

『モチベーションが変わる～わき腹みがきによる PTC～』

講師：医療法人社団つくも会 藤岡歯科医院

士長 山本 春江 先生

実習：デモンストレーション、自分磨き、相互実習

指導：山本 春江 先生、岩本 宏子 先生

参加者数：32 名

歯科医師 3 名、歯科衛生士 29 名

○多職種を対象とした 歯科と介護等をつなぐ研修会の開催

### ③介護職員（ヘルパー）を対象とした口腔ケア実地研修会

実施日時：平成 28 年 2 月 15 日（月）14：00～16：00

実施場所：株式会社リボーン

だいにちスローライフビレッジ管理棟会議室

研修内容：講演：『訪問介護員のための口腔ケア』

講師：武田あゆみ 歯科衛生士

実習

デモンストレーション講師：樋口 聖子 歯科衛生士

グループ実習講師：岩片みえ子 歯科衛生士

薄波 清美 歯科衛生士

奥泉 文子 歯科衛生士

竹内 伊澄 歯科衛生士

藤原 光子 歯科衛生士

参加者数：上越市内 訪問介護事業所 訪問介護員 19 名



○その他の人材育成の事業

④訪問口腔ケア現場での歯科衛生士養成事業

実施日				場所	担当歯科衛生士
平成 27 年	12 月	10 日	(木)	居宅	岩片みえ子
		21 日	(月)	居宅	村山 径
		29 日	(火)	施設	靱井美貴子
平成 28 年	1 月	12 日	(火)	居宅	村山 径
		13 日	(水)	居宅	樋口 聖子
		15 日	(金)	居宅	樋口 聖子
		18 日	(月)	居宅	靱井美貴子
		19 日	(火)	施設	靱井美貴子
		20 日	(水)	施設	岩片みえ子
		20 日	(水)	施設	岩片みえ子
	26 日	(火)	施設	岩片みえ子	
2 月	4 日	(木)	施設	村山 径	

⑤在宅歯科医療連携室・職員サポート体制の構築

出務者：山口 敦子

実施日：平成 28 年

1 月	8 日	(金)	16 : 00 ~ 18 : 00
	25 日	(月)	14 : 00 ~ 16 : 00
	27 日	(水)	10 : 00 ~ 12 : 00
	29 日	(金)	14 : 00 ~ 16 : 00
2 月	1 日	(月)	10 : 00 ~ 12 : 00
	3 日	(水)	14 : 00 ~ 16 : 00
	5 日	(金)	10 : 00 ~ 12 : 00
			13 : 00 ~ 15 : 00
	8 日	(月)	14 : 00 ~ 16 : 00
	10 日	(水)	10 : 00 ~ 12 : 00
	16 日	(火)	14 : 00 ~ 16 : 00
19 日	(金)	10 : 00 ~ 12 : 00	
23 日	(火)	14 : 00 ~ 16 : 00	



○医科歯科介護連携のための協議会

⑥退院時カンファレンスについての上越地域医療センター病院との協議会

実施日時：平成27年11月4日（水）18：00～21：00

実施場所：上越地域医療センター病院

出席者：上越地域医療センター病院

古賀 昭夫 総合診療科部長、在宅医療支援センター長

古澤 弘美 看護部長

水野 智美 地域医療連携室 室長

中島 恵美 地域医療連携室 退院調整看護師

福山 卓 総務課長

上越歯科医師会

水野 吉広、坂本廣一朗、杉田 佳織

在宅歯科医療連携室職員

靱井美貴子、村山 径

- 内 容：1. 退院時カンファレンス協議会経緯説明  
2. 自己紹介  
3. 事例紹介  
4. 質疑応答、意見交換  
5. その他



⑦退院時カンファレンスへの歯科参画の推進に向けての基幹病院の歯科医師との協議と資料づくり

実施日時：平成28年2月22日（月）19：30～21：30

実施場所：上越歯科医師会館

出席者：新潟県立中央病院 武田 幸彦 先生

新潟労災病院 松井 宏 先生

上越総合病院 桑原 徹 先生

けいなん総合病院 藤田 一 先生

在宅歯科医療連携室運営委員

水野 吉広、青山 隆一、坂本廣一朗、大山 賢司

在宅歯科医療連携室職員

靱井美貴子、村山 径

- 内 容： 1. 退院時カンファレンスへの上越歯科医師会の取り組みの経緯  
 2. 新潟労災病院における先進事例について  
     ①カンファレンス前後で病院側が行う具体的な流れ  
     ②これまでの症例について  
     ③病院側が抱える問題点について  
 3. 協議  
     ①今後の取り組みの課題  
     ②作成すべきリーフレット・資料などについて  
     ③その他



⑧介護予防事業等への出前講習

実施日				会場	担当歯科衛生士
平成 27 年	11 月	17 日	(火)	大潟コミュニティプラザ	靱井美貴子
	12 月	16 日	(水)	清里コミュニティプラザ	山口 敦子
		17 日	(木)	頸城区西福島二区町内会館	山口 敦子
		17 日	(木)	名立地区公民館	竹内 伊澄
平成 28 年	1 月	13 日	(水)	南新町市営住宅 4 棟 1 階集会室	武田あゆみ
		15 日	(金)	ユートピアくびき希望館	藤原 光子
		21 日	(木)	頸城区坂田生活改善センター	靱井美貴子
		21 日	(木)	長浜会館	武田あゆみ
		22 日	(金)	農協旧事務所	藤原 光子
		25 日	(月)	中郷コミュニティプラザ	岩片みえ子
	2 月	1 日	(月)	大潟コミュニティプラザ	岩片みえ子
		2 日	(火)	三郷分館	武田あゆみ
		4 日	(木)	三和保健センター	武田あゆみ
		18 日	(木)	津有分館	竹内 伊澄
		22 日	(月)	板倉保健センター	樋口 聖子
3 月	2 日	(水)	浦川原保健センター	岩片みえ子	

## <関係機関との連携に向けた取組状況等>

### ○補助金関係

- ・ 6月 4日 (木) 上越市高齢者支援課との補助金に関する協議会
- ・ 6月 11日 (木) 妙高市との補助金申請に関する協議会
- ・ 10月 29日 (木) 糸魚川市との補助金申請に関する協議会
- ・ 12月 15日 (火) 補助金に関する三市合同協議会
- ・ 1月 8日 (金) 妙高市との補助金に関する協議会

### ○その他

- ・ 10月 8日 (木) 歯科医師会と登録歯科衛生士との協議会
- ・ 12月 19日 (金) 上越地域在宅医療連携協議会第4回多職種連携研修会等  
企画委員会へ在宅歯科医療連携室職員(村山)出席
- ・ 1月 13日 (水) 地域医療・包括ケアの未来を拓く多職種連携 in 上越  
PartIXへ在宅歯科医療連携室職員(靱井・村山)出席

## <周知における取組状況等>

- ・ 8月 25日 (火)  
在宅医療推進フォーラムにて在宅歯科医療連携室ブース出展
- ・ 10月 17日 (土)  
にいがた健口文化フォーラム in 上越にて在宅歯科医療連携室ブース出展
- ・ 3月 11日 (金)  
上越タイムス「医療・介護特集」広告掲載

### ○視察対応6件

- ・ 4月 2日 (木)  
厚生労働省老健局老人保健課 課長補佐 岩田真紀代氏
- ・ 4月 16日 (木)  
曾根歯科医院(新潟市秋葉区) 院長 曾根 清和 歯科医師、  
歯科衛生士2名
- ・ 5月 21日 (木)  
あおぞら診療所(千葉県松戸市) 山口 朱見 歯科衛生士
- ・ 8月 14日 (金)  
高知県健康政策部健康長寿政策課主幹 吉田 有里氏  
高知県歯科医師会 岡本 康生 専務理事、  
上田 健一 事務局長
- ・ 10月 15日 (木)  
甲府市歯科医師会 笠井 隆司 専務理事氏、藤原 歯科衛生士
- ・ 11月 26日 (木)  
旭川歯科医師会 藤田 浩孝 副会長、大久保 卓 事務局長

### <訪問 X 線機器貸出件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5	3	3	12	1	8	0	4	3	1	2	0	42

(前年度は40件)

### <訪問診療ユニット貸出件数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	3	6	4	4	0	3	2	3	1	1	1	31

### <在宅歯科医療サービス実態調査報告>

平成27年7月のひと月の実施状況

調査対象数 122 件 (診療所数)

回答数 78 件

回答率 63.93 %

- ・ a 在宅歯科医療サービス、介護保険サービスへの対応  
 対応できる 70 件  
 対応できない 8 件
- ・ b 歯科訪問診療(在宅)  
 有 28 件 (104 回)  
 無 42 件
- ・ c 歯科訪問診療(施設)  
 有 30 件 (377 回)  
 無 40 件
- ・ d 訪問歯科衛生指導  
 有 15 件 (273 回)  
 無 55 件
- ・ e 居宅療養管理指導(歯科医師による)  
 有 12 件 (46 回)  
 無 58 件
- ・ f 居宅療養管理指導(歯科衛生士による)  
 有 13 件 (109 回)  
 無 57 件

※指導を行っている歯科衛生士数 28 人 (13 件中 2 件未回答)

## <解説と総括>

平成27年度の訪問口腔ケアセンターと在宅歯科医療連携室の「概況報告書」についての解説と活動実績に対する総括をさせていただきます。

平成28年3月23日をもって、訪問口腔ケアセンターは設立10周年を迎えることになりました。しかし、平成27年度末をもって、在宅歯科医療連携室に包括され、発展的解消をいたしました。訪問口腔ケアセンターの業務は縮小されることなく、すべての事業が在宅歯科医療連携室に包括されております。

そのような訳で平成27年度の総括は、両方一緒にさせていただきます。

P. 1は「訪問口腔ケアセンターの連携室への包括」の経緯について記載致しました。

P. 2をご覧ください。在宅歯科医療連携室の設立主旨を記載致しました。なお、県歯の資料を参考にしました。

厚労省の在宅歯科医療連携室整備事業が開始した平成22年時点での連携室の業務内容は、

- ①医科・介護等との連携窓口
- ②在宅歯科医療希望者等の窓口
- ③在宅歯科医療や口腔ケア指導等実施歯科診療所等の紹介
- ④在宅歯科医療に関する広報
- ⑤在宅歯科医療機器の貸出等

その後、県内の連携室が7郡市会になった昨年、県歯作成の資料では、連携室の事業が拡充的に見直され、下記の①～⑦のように記載されました。

- ①医療・介護等、関連多職種との連携窓口
- ②在宅歯科医療希望者等、一般市民の窓口
- ③訪問歯科医療従事者の負担軽減の支援
- ④効率的な歯科医療提供のための多職種連携のコーディネート
- ⑤訪問歯科医療、口腔機能向上に関する地域住民への普及啓発
- ⑥訪問歯科医療に従事する人材育成
- ⑦訪問歯科医療に関する調査研究

P. 3は「登録歯科衛生士」について記載致しました。

「登録歯科衛生士」の制度は、上越と同年に発足した佐渡では採用されていないため、本会独自のものです。しかし、昨年の県歯の資料に、初めて「在宅歯科医療連携室・登録歯科衛生士」の記述があり、推奨しています。県歯が本会のシステムを採用された形とも言えます。

会員の先生方による登録歯科衛生士への依頼は、歯科衛生士に関する業務全般での出務にも対応致します。つまり、口腔ケアに限らず、例えば、学校・園での歯科衛生講話なども可能です。現在のところ、歯科医療機関内の業務以外になってはいますが、今後の検討課題です。

### <登録歯科衛生士名簿>

現在17名です。昨年度から1名増えました。毎年、多少の出入りがあります。糸魚川市も、1名ですが登録歯科衛生士が活動中です。

P. 4～5をご覧ください。

<電話および来室対応件数>は、1年間で163件でした。(この統計は、平成18年度から<電話相談件数>として報告していました。)平成26年度は135件でしたので、これも順調に増加しています。(83件→104件→135件→163件) 訪問口腔ケアセンター開設年の平成18年度以降の推移は、棒グラフに示されています。在宅歯科医療連携室が開設された平成23年度に激増し、その後も堅調に伸びています。

平成27年度の相談者は、多い順に ①歯科関係者60件、②介護支援専門員46件、③行政関係者25件、④一般住民14件、となっています。歯科関係者からの相談が増えて、一番になりました。(17件→38件→60件) 歯科医師または歯科衛生士、本会または他郡市会(県外も)、相談者は様々です。視察や講演の依頼が多くあることから察するに、在宅歯科医療に関心のある歯科関係者から注目されている結果だと思われます。

次に多い介護支援専門員(ケアマネジャー)からは、「気軽に(口腔ケアについて)いろいろ相談できる。」と在宅歯科医療連携室窓口は好評です。

このように、口腔ケアに関する相談・依頼の窓口を、外部に広く開放することによって他の職種とのコミュニケーションが取れ、連携が深まることとなります。それが、訪問歯科診療と訪問口腔ケアの業績アップにつながります。歯科職種以外に向けた、口腔ケアへの入り口を、広く利用しやすく設定することは、厚生労働省の「在宅歯科医療連携室整備事業」の根幹をなすコンセプトです。

在宅歯科医療連携室開設前の平成18年度から平成22年度の5年間は、訪問口腔ケアセンターの窓口として週1時間半だけの開設でした。電話相談件数は多くて年間18件でした。それが、在宅歯科医療連携室が開設された平成23年以降は、週20時間の大幅拡充となり、電話相談件数は56件→83件→104件と激増しています。平成26年度は、予算の関係で週10時間の業務時間と半分になりましたが、104件→135件と増えています。平成27年度は、週3日だけ午前勤務が増えて、週26時間となり、件数は163件に増えました。窓口が広くなり、益々活用しやすい連携室になってきたと思います。

P. 6をご覧ください。

平成27年度の1年間、3月31日現在の出務依頼数など、旧・訪問口腔ケアセンターの実績は以上のように示された通りです。ただ、登録歯科衛生士への出務依頼は、これ以外に在宅歯科医療連携室を通さないケースも多少あるものと思われます。

(1) 歯科医師への出務依頼は、訪問歯科診療が50件、研修会講師が5件で、合計55件でした。平成26年度は、訪問歯科診療が35件、研修会講師が10件で、合計45件でしたので、26年度に少し減少したのが回復しています。(29件→51件→45件→55件) 平成26年度は、予算の関係で週10時間(毎日2時間)の業務時間と半分になりましたので、その影響が大きかったと考えています。  
なお、県委託事業の「在宅要介護者等歯科保健推進事業」107件は、別枠としました。  
(内訳は、①訪問歯科健診事業87件 ②口腔ケア実地研修事業20件) これを加えまして162件で、かなりの数になります。

(2) 登録歯科衛生士の新規依頼件数は196件でした。平成26年度は54件でしたので、激増しました。(41件→53件→54件→196件) 194件の内訳は、①歯科医師会会員からの依頼が66件、②介護事業所等から2件、③行政から123件となっています。  
①の歯科医師会会員からの依頼は、平成25年度は42件でした。(21件→40件→42件→66件) 他職種からの依頼もありがたいですが、本会会員の先生方から数多く依頼していただけるようになったことは、本会の組織としての存在意義が高まりつつあることを示す訳で、たいへん喜ばしいことと思っております。

歯科医師会会員からの依頼66件の内訳で、最も多かったのは、在宅の訪問口腔ケアの

22件で、平成26年度の10件からかなり増えています。2番目は、口腔ケア実地研修事業の16件でした。こちらは、平成26年度11件でしたので増加しています。

◎ (1)と(2)の総計は251件(70件→104件→99件→251件)で、過去最高でした。なお、これらの依頼件数の推移は、P. 7, P. 8のようにグラフにしますと一目了然です。特に、在宅歯科医療連携室が開設された平成23年度以降の伸びが顕著です。

ところで、口腔ケア実地研修事業について説明させていただきます。これは、県委託事業の「在宅要介護者等歯科保健推進事業」の2事業の1つです。

実施の全件数について説明します。平成24年度は4件、平成25年度は26件でしたので、かなり増加しました。しかし、平成26年度は、16件にとどまりました。平成27年度は20件でした。(4件→26件→16件→20件) この事業は、4年前に対象とする施設が緩和されました。また、上越地域振興局健康福祉環境部(上越保健所)が施設に利用の働きかけをしてくださったことが増加の原因になりました。また、出務は、「訪問歯科健診事業」と同様に歯科医師と歯科衛生士の2名で実施します。20件のうち、この同行歯科衛生士として、①勤務歯科衛生士の場合が2件、②登録歯科衛生士が18件となっております。登録歯科衛生士に依頼するケースが多くなっています。口腔ケアの実地研修に対する登録歯科衛生士のスキルが、会員の先生方に認められてきている表れと考えています。なお、この事業は、介護保険施設等で年1回無料にて口腔ケア研修会が開催されるというメリットがあるため、この事業にのらない施設からの口腔ケア研修会の依頼が減ってきています。

P. 8～9をご覧ください。

在宅での訪問口腔ケアと、施設での訪問口腔ケアの「ケア回数」を、月別に表と棒グラフにまとめてみました。在宅の訪問回数は1265回で、平成26年度の1110回を上回りました。この数字はいわば「再診数」であり、上記の新規依頼件数よりも、訪問口腔ケアの活動実態が把握できます。施設の訪問回数も合わせれば、かなりの数になります。施設への訪問回数は、1年間で873回になりました。棒グラフで明確に示されているように、多少の増減はありますが、順調に伸びてきております。

P. 10をご覧ください。口腔機能向上サービスと上越市・妙高市の介護予防事業の内容です。

P. 11～12をご覧ください。

運営委員会の構成メンバーと、4回の運営委員会の開催日程です。

P. 13をご覧ください。

これは、在宅歯科医療連携室整備事業における、新潟県歯科医師会に提出する報告書の書式に基づいた資料です。在宅歯科医療連携室発足後の4年間の推移をお示し致します。91件→138件→215件→238件→521件と着実に実績が伸びてきています。

※今回(平成27年度)の集計から、

訪問歯科健診事業と口腔ケア実地研修事業の実績(合計107件)を含めています。

P. 14～17をご覧ください。

「上越市在宅医療・介護連携推進事業補助金」による事業の報告です。

平成27年6月4日(木)に、上越市・高齢者支援課との協議会を行いました。本会から、永井謙会長・青山隆一地域保健部理事・水野の3名が市役所に出向きました。高齢者支援課からは、佐藤副課長と細谷係長が出席されました。県と市で合意された概念に準拠した在宅歯科医療連携室関連の事業を列記した文書を作成して、上越市に提示しました。それらの事業内容は、上越市の意向にも沿うものであることがわかりましたので、以後「補助金交付申請書」と「事業計画書」を作成して、上越市に提出することになった訳です。

その後、私・水野を中心に、補助金70万円の事業計画・予算案の構想をまとめました。

8月11日(火)開催の第2回在宅歯科医療連携室運営委員会に諮り、一部修正しました。そして、ようやく9月10日(木)に、確定した事業計画・予算書を上越市高齢者支援課に提出しました。

上越市に了解された①～⑧の事業を列記します。

- ①上越歯科医師会在宅歯科医療連携室研修会
- ②訪問口腔ケアのための歯科衛生士研修会
- ③介護職員(ヘルパー)を対象とした口腔ケア実地研修会
- ④訪問口腔ケア現場での歯科衛生士養成事業
- ⑤在宅歯科医療連携室・職員サポート体制の構築
- ⑥「退院時カンファレンス」についての上越地域医療センター病院 との協議会の開催
- ⑦「退院時カンファレンス」への歯科参画の推進に向けての基幹病院の歯科医師との協議と資料づくり
- ⑧介護予防事業等への出前講習(上越市)の実施

P. 18をご覧ください。

<関係機関との連携に向けた取組状況等>を記載してあります。

#### 【外部からの視察対応】 6件

- ①4月2日(木) 厚生労働省老健局老人保健課 課長補佐 岩田真紀代氏
- ②4月16日(木) 曾根歯科医院(新潟市秋葉区)  
院長 曾根 清和 歯科医師 , 歯科衛生士2名
- ③5月21日(木) あおぞら診療所(千葉県松戸市) 山口 朱見 歯科衛生士
- ④8月14日(金) 高知県健康政策部健康長寿政策課主幹 吉田 有里氏  
高知県歯科医師会 岡本 康生 専務理事, 上田 健一 事務局長
- ⑤10月15日(木) 甲府市歯科医師会 笠井 隆司 専務理事, 藤原 歯科衛生士
- ⑥11月26日(木) 旭川歯科医師会 藤田 浩孝 副会長, 大久保 卓 事務局長

このように、全国各地から視察においでいただきました。

厚労省の岩田課長補佐は、若手エリート官僚(歯科医師)でした。高知県庁の吉田主幹は、新潟大学出身の歯科医師でした。お二人とも女性で、将来を嘱望される歯科医師行政職員で、その見識は立派なものでした。

また、甲府市歯科医師会の笠井専務理事と旭川歯科医師会の藤田副会長は、本会のやり方とは、また違った事業展開をされており、当方としても参考になるお話もいただきました。なお、視察いただいた皆様から、本会・連携室のホームページが充実しているとの、お褒めの言葉をいただきました。

P. 19をご覧ください。

<在宅歯科医療サービス実態調査報告>です。

平成27年度から会員診療所を対象とした在宅歯科医療サービスの実態調査について連携室業務として調査することとなり、新潟県歯科医師会へ報告した内容です。登録歯科衛生士への依頼ばかりでなく、歯科医院勤務の歯科衛生士による訪問歯科衛生指導の件数が多い現状が分かりました。

<参考>

平成24年7月に、上越歯科医師会ホームページは、全面更新されました。訪問口腔ケアセンターのページも一新され、在宅歯科医療連携室のページが新設されました。NHKの取材を受けたのも、このHPが役に立ったようです。

検索サイトで、<訪問口腔ケアセンター>と<在宅歯科医療連携室>と検索してみますと、GoogleでもYahooでも多くの場合、本会がトップに出てくることが多いです。また、他地域の在宅歯科医療連携室関連の事項も多く見ることができます。是非アクセスしてみてください。

以上が、訪問口腔ケアセンターと在宅歯科医療連携室についての概況報告書の解説と総括です。



## 在宅歯科医療連携室の予算の推移について

厚生労働省歯科保健医療対策関係予算の新規事業として、平成22年度補正で在宅歯科医療連携室整備事業が始まりました。下表のように、本会は平成26年度分まで、合計1,083万7000円の予算を無償でいただきました。平成22・23年度は、主に部屋の改装費と事務機器などの購入費に充てられました。その後は、人件費関連が主体となっています。

この厚労省歯科保健医療対策関係予算は、平成26年度で終了することとなりました。

しかし、平成26年12月の「新たな財政支援制度」に関する会議で、新規事業である「医療介護総合確保基金」(基金事業)が始まることになるとの説明があり、この予算で在宅歯科医療連携室整備事業が継続されることになりました。補正予算が出ることになり、平成27年1月から、2郡市会→7郡市会に拡大されることになりました。

	厚労省歯科保健対策予算	基金事業	上越市補助金
平成22年度(下半期)	195万円		
平成23年度	388万7000円		
平成24年度	200万円		
平成25年度	200万円		
平成26年度	100万円	100万円(途中追加)	
平成27年度	—————	367万4600円	70万円

平成27年度からは、前述のように、上越市から「在宅医療・介護連携推進事業補助金」が70万円予算化されるようになりました。

また、平成28年度は、

- ① 上越市 70万円 (継続)
- ② 糸魚川市 20万円 (新規)
- ③ 妙高市 15万円 (新規)

以上、3市から補助金をいただけることになりました。

その交渉を目的とした会議は、

- \*6月11日(木) 妙高市との補助金申請に関する協議会
- \*10月29日(木) 糸魚川市との補助金申請に関する協議会
- \*12月15日(火) 補助金に関する三市合同協議会
- \*1月8日(金) 妙高市との補助金に関する協議会

以上のように開催しました。

糸魚川市と妙高市との交渉は、青山隆一先生(地域保健部理事・運営副委員長)を中心として、各市の関係の先生方(理事・支部長など)のご協力を得て、実施しました。新規の予算交渉であり、粘り強い説明が必要だったようです。先生方のご努力に敬意を表します。

平成26年度までは、在宅歯科医療連携室整備事業の交付金のみに頼っていました。しかし、この事業の交付金が終了しても、継続した在宅歯科医療連携室の運営ができるように、永井謙会長が先頭に立ての上越歯科医師会を挙げての態勢が整ったことが、大きな成果を上げました。

「オール上歯態勢」の支援を受けて、我々運営委員会は、多職種連携および医科歯科連携の推進、訪問歯科診療・訪問口腔ケアの需要の拡大に今後も務めてまいります。

平成28年6月14日

(在宅歯科医療連携室 運営委員長 水野吉広)

## 登録歯科衛生士出務依頼書

申込日 年 月 日

送信先：FAX 025-527-2844

歯科医院名：	
歯科医師名：	
TEL：	FAX：

■ 登録歯科衛生士の出務内容 (□に✓を入れてください)

- 訪問口腔ケア (在宅)
- 訪問口腔ケア (施設・病院)
- 歯科衛生講話と指導 (介護保険施設など)
- 歯科衛生講話と指導 (学校・園)
- 歯科健診事業の指導 (事業所健診)
- その他 (具体的にお書きください)

■ 出務先の名称と所在地

名称：

所在地：

■ 初回出務予定・月日 または 希望曜日・時間

■ 希望する歯科衛生士名

※希望する登録歯科衛生士があればお書きください。ただし、ご希望に添えない場合もあります。

■ 通信欄

---

## 契約成立報告書

(※契約成立後に返信してください。)

送信先：FAX 025-527-2844

歯科医師名：
登録歯科衛生士名：
出 務 先：
出 務 年 月 日：